

巻 頭 言

慶應義塾大学経済学部

森藤 孝之

私はコロナ禍の期間を含む 2017 年から 2025 年まで、広報委員会とホームページ管理委員会のメンバーとして、日本数学会の対外的発信に関わる（裏方の）運営に携わってきました。いまは両委員会の担当業務から離れてほっと一息ついたところです。そんな折、数学通信前編集委員長から「ホームページ管理委員会では普段会員が気づかない様々な御苦労がございましたのではないかと拝察致しますので、是非とも「巻頭言」を御寄稿頂けましたら大変有難く存じます」とのお言葉をいただきました。折角の機会ですので、日本数学会ホームページならびにホームページ管理委員会について、個人的体験も交えつつ簡単にご紹介いたします。

会員の皆様は、日本数学会のホームページ (<https://www.mathsoc.jp/>) を一度はご覧になったことがあるのではないのでしょうか。トップページには、会員向け、社会・一般、学術的会合などのニュースのほか、春と秋に開催される年会・秋季総合分科会での講演申込みに関する情報へのリンク（現在は ICM 招致に関する情報）も掲載されています。トップページが更新された場合には、X（旧 Twitter）への自動投稿も行われており、そちらを通じてニュースをご覧になる会員の方も少なくないと思います。

日本数学会ホームページは、元々は理事会内の非公式な「ホームページ管理委員会」によって立ち上げられ、管理・運営されてきました。その後は同委員会の発展的解消に伴い発足した情報システム運用委員会により、ホームページは管理されてきました。2017 年には、研究成果公開促進費「国際情報発信強化」のワーキンググループプロジェクトの一環として、英文ページの整備を含めた日本数学会ホームページのリニューアルを、業者委託したうえで行うことになりました（そのように私は聞いています）。

私が広報委員会のメンバーになったのはちょうどその頃でした。新しい和文ページは 2020 年 5 月から、英文ページは 2021 年 9 月から運用が始まっています。ホームページリニューアルに関する一連の経緯については、数学通信第 25 巻第 1 号に記されているので、ここでは繰り返さないことにします。

このリニューアル作業を当初から担っていた少数のグループが現在のホームページ管理委員会の前身で、正式には 2022 年 7 月に発足した委員会となります。ホームページ管理委員会規則によると、「ホームページ管理委員会は日本数学会ホームページの保守・

管理を担当する。また、他の委員会と緊密な連携のもと日本数学会ホームページの編集を統括する。」と定められています。より具体的には、日本数学会の理事会、各種委員会、会員の皆様からのホームページ掲載依頼を管理委託業者へつなぐ役割（窓口対応）を主な業務としています。さらに規則には、「委員会は委員若干名（うち1名はシステム担当）および担当理事とで構成し、委員会には委員長を置く。委員長は随時オブザーバーを招集できる。必要に応じて事務局からも適宜委員会に参加する。」とあり、現在は広報委員会から2名、情報システム運用委員会から1名、事務局から1名と担当理事の計5名で委員会が構成されています。

実際にホームページ掲載の依頼があった場合には、以下のプロセスを経て公開されることとなります。各種の依頼に対して、まずは広報委員会の担当者が記事の原案を作成します。これを委託業者につなぐのがホームページ管理委員会、業者からはデモ版の作成、依頼主の確認後には本番サイト掲載の連絡が入るので、その都度、広報委員会と業者の橋渡しを行います。これらのやり取りはすべてメールで行われるため、グループメールには日々多くのメールが行き交うこととなります。運用開始時には依頼主が直接業者に掲載依頼を行うという選択肢も検討されましたが、作業状況の把握が困難となるおそれがあることから、数学会側からの依頼はできるだけ一本化した方が望ましいとの判断により、現在は事務局と広報委員会の二つのルートから掲載依頼を行っています。

また委員会では、小規模なサイト構造変更についても定期的に検討しており、これまでに、ホームページ内で利用者が迷わないようにする工夫や、より魅力的な情報発信ができるような改善を少しずつ試みてきました。個人的な話となり恐縮ですが、ニュース掲載の中には速報性の高いものもあり、学務で身動きがとれないときや出張で移動中の際に掲載依頼があった場合の窓口対応には、多少苦勞することもありました。

委託業者とは年に数回オンライン（コロナ禍前は対面）での打ち合わせを行い、更新作業が円滑に進むよう努めてきました。また、限られた予算の中で効果的にホームページの管理・編集を行うための工夫として、速報性の極めて高いニュース掲載については「即時対応」が可能な掲載方法を業者と取り決めるとともに、学会開催期間中に（台風等の影響による）臨時情報を素早く発出できる仕組みを整えました。現在は新しいメンバーのもとで、更新作業が安定的に行われているものと推察しています。

最後になりますが、広報委員長在任中にホームページリニューアルの膨大な移行作業を共に担ってくださった当時の広報委員会の皆さん、ホームページ管理委員長在任中に数学会ホームページの保守・管理を担当してくださった皆さん、そして日々の細かな更新作業に迅速かつ丁寧に対応して下さっている日本数学会事務局の方々に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。結びとします。